

2012 年 9 月 強羅から仙石原、足柄幹線林道

基本データ

クラブラン実施日	2012 年 9 月 9 日（日）
クラブラン名称	強羅から仙石原、足柄幹線林道
コース概略	箱根登山鉄道「強羅駅」⇒仙石原湿原⇒芦ノ湖（桃源台昼食）⇒仙石原サイクリングロード⇒宮城野⇒広域農道⇒いこいの森⇒東海道本線「小田原駅」 GPS ログ http://yahoo.jp/1EHfyg 走りの難易度：（クラブとしてはややきつい）
集合場所	箱根登山鉄道「強羅駅」10：40 集合、11:00 出発
クラブラン担当者	M 山
レポート担当者	O 笠原、O 湖
参加者	M 山、W 邊、M 野、S 水、T 本、N 川、U 佐美、T 地、F 本、O 笠原、W 田、O 湖
使用機種	700C ロード 6 機、小径車 3 機、700C シクロクロス 1 機、650 ランドナー 1 機、26 インチ折りたたみ型 1 機
天候	晴天で乾いた微風、気温高し、まだまだ暑かった

レポート（O 笠原）

10時30分ころ強羅駅



ロードバイク、TT バイク、ランドナー、
写ってないけど、小径車、フォールディング。。。E
t c

多彩な車種が集合しました。。

総勢12名

ワタシは強羅まで輪行したけど、小田原から自走で
登ってきたツワモノもいました。

ちなみに小田原～強羅は、距離約15km、標高差
530mです。

出発前のミーティング。

2グループに分けて出発です。



10:58 定刻通り強羅駅を出発



出発してすぐに激坂！

M山さんは、すでに坂に負けてます。

小笠原は、この時点では足を付いてなかったけど、このあとバスに道をふさがれて、負けました。

コース前半は、ひたすら上りです。

強羅を出発して台ヶ岳をぐる〜っと回ってロープウェイの終着の桃源台へ。

ススキが広がる仙石原を走ります。

目指すは公魚料理の『網元おおば』

途中、GIANT がパンク！

急遽、O湖さんの「パンク修理講座」が始まった



ホイールのはずしかた。タイヤレバーの使い方、チューブの入れ方、などなど・・・

あれこれ説明しながらチューブ交換 6分半で交換完了でした



パンクの原因はこれ

お〜〜！バルブがもげかけてます！

おかげで予定よりちょっと遅れて、『網元 おおば』さんに到着したのは12:30でした

『おおば』さんは、芦ノ湖畔の眺めのよいお店です



パノラマで撮ってみました

芦ノ湖といえば公魚
ランチは



公魚のフライ か
どっちも美味しそうです

公魚の天ぷら

エネルギーをチャージして後半戦に突入。

まず、大箱根CCを突っ切る仙石原サイクリングコース。

これがなかなかのくせ者コース。

最初はゴルフコースの脇の林の中を走るクネクネした「ちょっと荒れた舗装」だったのが、途中からどんどん舗装の荒れがひどくなり、ついに舗装がとぎれてグラベルになり、さらに砂利道、そしてガレ場。O笠原のタイヤは1.5インチだから、ちょいとオシリをふる程度で難なく走破できたけど、23Cのロードさんはさぞ辛かっただろう。

仙石原サイクリングコースを抜けたところでコンビニ休憩



大涌谷の噴煙が遠くに見えます。

ここから「箱根裏街道」というんだそうだ国道 138 号で強羅駅（のあたり）までもどる。
だいたい早川をはさんだ反対側のあたり。

この道は乙女峠から国道 1 号線に繋がる道なもので、交通量が多い



裏街道のさらに裏道「足柄幹線林道」へ



眺望はたいしたことのないけど、開けているから
気持ちは良い

油断してると、後ろから送迎のマイクロバスがやってくる。



が〜〜っと下って、ちょろっと登ってを繰り返す
足柄幹線林道
この「ちょろっと登る」がけっこうキツイ



最後の上りを登り終えたところで休憩。

車も大してこないし、それほどクネクネしてないから飛ばせるんだけど・・・



途中にこんなブービートラップが！
ヘタすりゃパンク、落車。
油断大敵です。

下りの途中で M 山さんが何か落とした！
スマホが落ちていて、ディスプレイが割れていた。
(写真撮らないでもたあ)

15 : 15 無事、小田原駅に到着

自転車をバラして記念撮影して解散

クラブランはここまで みなさんお疲れ様でした。

G P S ログで計測したデータです

距離：38.1km 走行時間：2h47m MAX：48,8km/h AV：13.62km/h

最高点：791m 累積標高(+): 631m (-): 1142m

コースは <http://yahoo.jp/1EHfyg> から見るができます。

このあと、幾人かは自転車を駅の片隅にまとめて



「大島の予定を確認する会」と称する反省会に参加



餃子をつまみに盛り上がりました。

レポート (O 湖)

9 月箱根クラブランなかなか面白かったですよ、暑かったけれどね。今回は総勢 12 名の大所帯なので、6 名+6 名の 2 班構成になりました。

O 笠原さんによる当該コース「ルートラボ」をご覧になっていただければおわかりのとおおり、芦ノ湖畔や仙石原では行楽車の渋滞に遭遇しそうです。このような道路状況に、安全走行のため当クラブ一行は、集団として小回りの効く形態を選んだわけです。

この日は出発点から到着点まで約 37km、最大標高地より約 800m の下りを堪能しました。とはいえ箱根登山鉄道強羅駅から最高地点まで行くのに高さ約 200m、100m のふたつの坂を上るようになっております。強羅駅から走り出していきなりこれらの坂ですからね、往生しました。

その点 M 野さんや S 水さん、W 邊さん、M 山さんの 4 名は、小田原から上っていらされましたから。海拔 0m から標高 650m をわずか 1 時間で上昇されてきたのです。これは凄いことでして、先般のヤビツ峠以上の高度をヤビツ峠以下の短い走行時間で制覇された。さすがというか、その旺盛な攻撃精神に感服いたしました。疲れ知らずの彼らは十分にウォーミングアップをされてきましたから、強羅スタートのわたしたちでは、ついて行くのもやっとのありさまです。

今回の行程には部分的に未舗装区間がありました。また石畳のような凹凸状に舗装された路面も散見されました。このような路面を意識的に走ることによって身体の平衡感覚、前下方からの衝撃吸収対応力などチャリ操縦技術の向上を図ることができます。

舗装路ばかり走り慣れても、道というのにはいろいろな状況がありますからね。ツーリング中に未舗装路が突然出現しても、何度か経験していれば慌てることもありません。

わたしは未舗装路では腰を浮かせ気味にして、前輪と後輪にかかる荷重を 5 対 5 になるようにしております。この理由は、後輪荷重が大きいままだと後輪のリム打ちパンクの原因をつくることになってしまいますので。またハンドルを支える両腕は、衝撃緩衝のため弾力的に可動するように構えております。

先行した 6 機のうちどなたかが、どうやらパンクの憂き目にお遭いになったようで。前方で皆が輪になり、当該機の小径後輪を囲んであでもない、こうでもないとい小田原評定のさなかに後続の 6 機が追いつきました。

その場で臨時パンク修理講座を開講し、タイヤ開腹手術を執り行うことになりました。タイヤを開腹してチューブを取り出し、仔細に眺めまわしてみますと…。原因はリム打ち



パンクの一種と申しましょうか、どうも石畳でチューブのバルブ部を打ちつけたようです。バルブ根元部のチューブが大きく切れておりました。スペアチューブと交換して一丁あがりです。

路面状況よっては、また暑さや疲労による集中力の低下は、リム打ちパンクを招きます。

特筆すべきは小径車 W 田さんのコーナリング技術の高さです。下り坂のすべてに、列機に遅れることなく追従してきます。それどころか列機を引き連れて降下してきた。彼は小径車としてはホイールベース 1,050 ミリと長めですが、16 インチの小径車輪ゆえジャイロ効果に限界がありますからね。その安定性、高速直進性などは確実に大径車に譲るのに。

コーナリング技術だけでなく、W 田さんは未舗装区間でもいつのまにか前進してきて、先頭に位置していましたっけ。小径車の踏破性は、これも大径車に性能差を見せつけられるというのに。英国社の設計製作による機体も性能的に優れているのでしょうけれど、どうしてどうして、たいした技量です。

小田原駅に全機到着して愛機を畳みました。この日は引き続き、9 月末催行する「伊豆大島一泊ツアー」の企画会議を開催することになっております。「ビールを飲みたい」とのじつに率直なご意見もありましたので、慰労会を兼ねて当クラブの小田原地区御用達「日栄楼」へ詣でました。



【輪行袋、一時集積ノ図】

どちらかといえば棒餃子ふうに全体が揚がっている名物のギョウザがじつに美味しいです。この店での代金精算の剰余金は、例によって「YMCC ヒューマニズム募金」としてお預かりさせていただきました。みなさんご協力どうもありがとうございました。